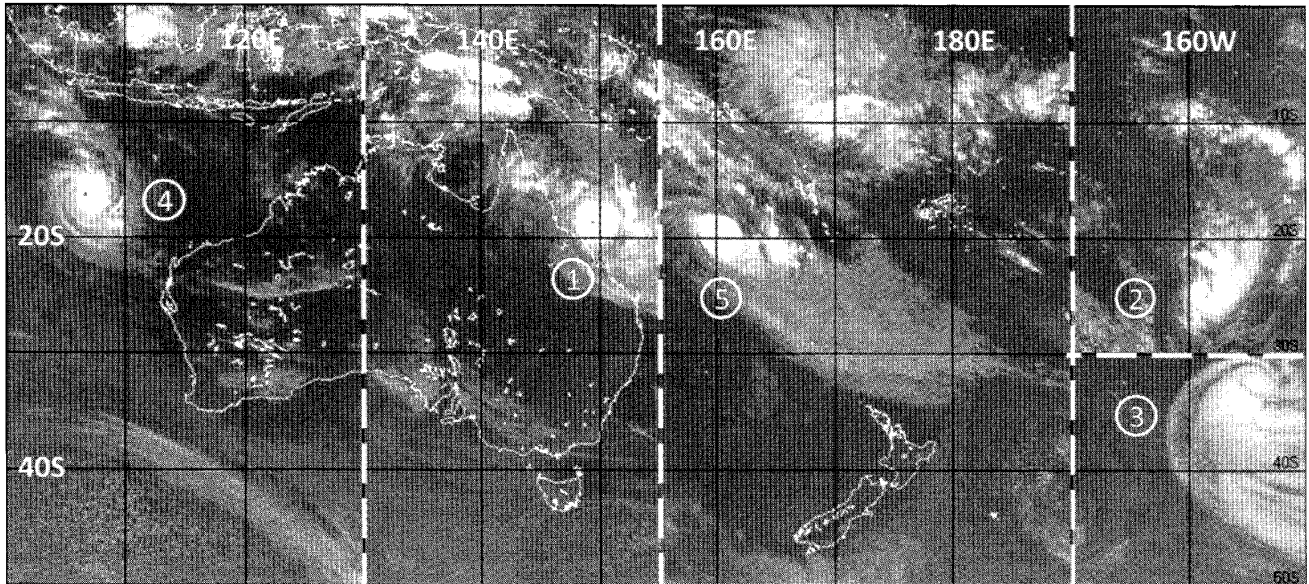


今月のひまわり画像—2009年3月

南半球の「Tropical Cyclone」



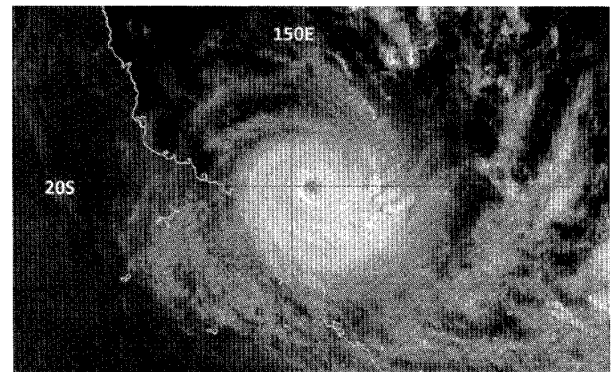
第1図 2009年3月に南半球（ひまわり6号の観測範囲内）で発生した Tropical Cyclone の赤外面像合成図。
図中白の破線が画像を合成した部分。

南半球の季節は北半球とは半年ずれている。南半球の3月は北半球の夏の終わりから秋の初めにあたり、Tropical Cyclone（トロピカルサイクロン：以下TCとする）の発生最盛期でもある。今年の3月も「ひまわり6号」の観測範囲内の南半球で5個のTCが発生した（ここでは日本の「台風（最大風速34 kt以上）」に相当する熱帯低気圧を対象とした。また南半球のTCは発生場所によりサイクロンやトロピカルストームと呼ばれるがここでは全てTCと表記する）。

第1図は3月に発生した5個のTCの赤外面像を合成した図で、発生順に① Hamish（5日21時）、② Joni（11日21時）、③ Ken（17日15時）、④ Ilsa（18日09時）、⑤ Jasper（24日03時）である（括弧内は各担当国の台風センターの速報解析の発生日時（日本時間））。

このうち最も発達したのは①の Hamish で、発生からわずか2日後の8日03時（第1図の画像）には中心気圧925 hPa、最大風速115 kt（60 m/s）に発達した。

第2図に最盛期（8日09時）の Hamish の可視画像



第2図 3月8日09時の Hamish の可視画像。

像を示す。明瞭な眼の形成から発達の様子は推定できるが、北半球の「台風」とは異なり「時計まわり」に対流雲の渦が雲域の外側から中心に向かって巻き込んでおり、北半球では見慣れない画像である。

「台風」は、今年は3月まではまだ発生していないが、南半球の各担当国の台風センターは大忙しだったと思われる。

（気象庁予報部予報課 西村修司）